

## 資料4

### 地産エネルギー・グリーンツーリズムWG 協議会報告資料

第7回あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会

場所: 秋田市環境部会議室

平成24年8月30日(木)

## 1. 本年度地産エネルギーWGの目的、進捗状況

### ●目的

本市における地産エネルギーのうち、市域に豊富に存在する森林資源について、木質ペレット製造の事業可能性や、木質ペレットの販売等の周辺サービスの事業可能性を調査し、市内における木質ペレットの普及促進のための事業スキーム構築を検討する。

### ●進捗状況

第2回WGを8月22日に実施。

WG 協議会  
(8/22) (8/30)

協議会  
(11/19)

協議会  
(2月末)

調査内容		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1)	木質ペレット製造事業に関する経済性の検討								
(2)	木質ペレット燃料需要調査								
(3)	木質ペレットボイラー導入ケーススタディ								
(4)	ペレットストーブ初期投資軽減策検討								
(5)	環境価値販売方策調査								
(6)	ペレット供給事業実施可能性調査								

## 2. WGメンバーの追加について

### ●WGメンバー追加に関する協議

地産エネルギーWGと連動して実施する秋田市事業、「地産エネルギー事業推進調査業務委託」に参画する事業者2社（アイ・エム・サービス株式会社、株式会社森のエネルギー研究所）を新たにWGメンバーとした。

### 構成メンバー

秋田大学西川准教授（WG長）

秋田県立大学板垣准教授

日本総合研究所

日本IBM、太陽美人（グリーンツーリズム担当）

アイ・エム・サービス、森のエネルギー研究所（地産エネルギー担当）

### 3. 第2回WG実施事項

---

- **木質ペレット製造事業に関する経済性の検討に関する報告**
  - ✓ 秋田市内に計画されているペレット製造事業に関する調査
  - ✓ ペレット製造事業における課題
  
- **ペレットストーブ初期投資軽減策検討に関する報告**
  - ✓ 初期投資額軽減策の整理
  - ✓ 今後の調査方針

## 4. 木質ペレット製造事業に関する経済性の検討

- 年間2,000tのペレット製造を目標にしたペレット工場を秋田市内に建設することが計画されている。
- 隣接する製材工場で発生するおが粉、プレーナー(かな)屑、丸太の端などをペレット原材料とする予定。
- 原料が足りない場合は、間伐材等を利用することも必要であるが、調達方法については未定。
- 製造する2,000tのペレットの販売先についても現時点では未定のため、秋田市内での需要を喚起することが必要。

### 【今後の調査内容】

- ✓ 原材料に関する調査
- ✓ 製造コスト試算、採算性向上のための施策検討
- ✓ 秋田市内におけるペレット需要調査
- ✓ 具体的な施設を対象にしたペレットボイラ導入ケーススタディ

## 5. ペレットストーブ初期投資軽減策検討

- ペレットストーブ普及促進の障害となる事項に、高額な初期投資(ストーブ本体20～50万円+工事費2～3万円)が存在する。
- またペレット価格が50円/kg程度では、ランニングコストの面でも石油ストーブと比べ優位性がない。  
(現在秋田県内の事業者が15kg750円にて販売)
- 初期投資およびランニングコスト軽減には以下の方策が考えられる。今後、他地域事例や秋田市独自のスキームを検討し、ペレットストーブ普及策を検討する。

### 初期投資に対する軽減策

- 本体価格の低減を図る。
- 本体価格の購入に対して補助する。
- ペレットストーブを住宅にビルトイン販売することでストーブ本体の単体価格感を出さない。
- ペレットストーブをリースする。

### ランニングコストに対する軽減策

- ペレット燃料価格の低減を図る。
- ペレットストーブを利用することによるCO2削減への貢献に対して金銭的還元を行う。